日本共産党 市議会議員（多摩区）

井口まみ

いぐち　真美

このヒト
このマチ
BOOK

市民と力あわせ 福祉とくらし優先の市政に

p6 井口まみのお約束
実現します！
くらし本位の市政

p2 多摩区まちかどインタビュー
井口まみ議員に期待します

p4 完全実話コミック プロジェクト まみ
多摩スポーツセンターに温水プールを！の巻

p8 市民の悩みと願いに 寄りそって

p9 力を合わせて政治をかえよう
日本共産党 川崎市議会 議員団

p10 熱血対談 一人ひとりの命を大切にする政治を

p12 こんにちは 井口まみです

▲井口まみ
ホームページ

明るい川崎
2018年号外　日本共産党 川崎市議会議員団
川崎区宮本町1 川崎市役所内 tel.0442003360

に期待します♪♪

相談してよかった！

夫は脳梗塞などの病気やけがも重なって、4年前から生活が困難となりました。食事やお風呂……どうしていいか困って井口議員に相談したら「介護申請しましょう」と言われ、すぐ区役所に行き手続きをしました。あれから一年、夫はデイサービスに通っています。

頼りになる井口さん。庶民の声をこれからもどんどん議会に届けてくれるよう、みんなで応援したいです。

南生田在住
米澤 勝代

安心して子育てできる街に

妊娠中から保育園にはいれるか、とても不安で井口さんに相談してきました。川崎市には、待機児童ゼロ、姉弟は同じ保育園に入れるなど、子育てに不安のない町になって欲しいと切に願っています。

生田・子育て中のママ
さっちろママ

うれしい中学校給食

菅中学校でも給食が実施され親子ともどもとても喜んでいます。中２の息子は「給食は美味しいよ。温かいよ。ほとんどご飯だよ」と話しています。親としては、朝寝坊したらどうしようという不安がなくなり、ありがたいです。次は自校調理や栄養士さんの配置ですね。井口さん、応援しています。

中学生の息子をもつ母親
栗本 治子

住宅リフォーム助成制度実現へぜひ!

井口議員が、ご自宅をリフォームされたとき、11職種の職人が関わり、8社が多摩区、うち6社が菅の方でした。地域中小企業の仕事おこしに役立つ「住宅リフォーム助成制度」の必要性を議会で取り上げ、市に実現を迫ってくれました。仲間の願いをぜひ結実させたいです。

川崎北部建職連合組合 **中島 啓**

障がい児のために頑張って!

療育相談でんでん虫では市内の学校や障害者施設を対象に、療育的な支援を行っています。「障がいの有無に関わらず、地域の中であたりまえに」という私たちの思いを広げてくださるのが井口さん！ 心より期待しています。

療育相談でんでん虫代表
渡邉 紀子

多摩区 まちかど インタビュー 井口まみ 議員

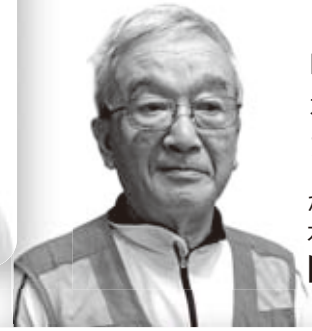
生田に市民館・図書館がほしい

生田地区には市民館・図書館分館をつくるはずだったのに、中止になってしまいました。井口まみ議員は生田地区に市民館を…という私たちの要求を、議会で7回も取り上げました。決してあきらめず市政に届けてくれる井口議員の姿勢は、生田出張所の建て替えに際して、市民と区役所職員が一緒に検討する取り組みにつながったと思います。これからも井口議員に期待しています。

生田在住
塩田 房子

生田浄水場復活運動を励ます井口議員

市民の水の半分を依存する小田原からの送水がポンプの故障で6日間止まった事件を、市議会で取り上げ鋭く質問。「市民の命の水を守るために生田浄水場の復活を求める」と力強く発言。井口議員の発言と行動は復活運動を展開している市民を勇気づけてくれます。夏冷たく、冬暖かい、おいしい命の水の生田浄水場復活のため、期待しています。



かわさきの安全でおいしい水道水を守る会
町井 弘明

暮らしを守る井口まみさん

まみさんは、寺尾台の問題（街路樹の落ち葉対策、児童公園前の水たまりの解消、増発バスの住宅地での待機解消）の解決など、住人の困りごとを数えきれないほど解決してくれました。「読売ランド駅前交差点は鋭角道路のため、左折車が歩道に接近しすぎて怖い。」という声に、さっそく現地調査をしてくれ、なんと3日で、ポールが立ちました。今は安心して歩いています。

寺尾台在住
清水 英子

布田橋でサイクリングコースがつながります！

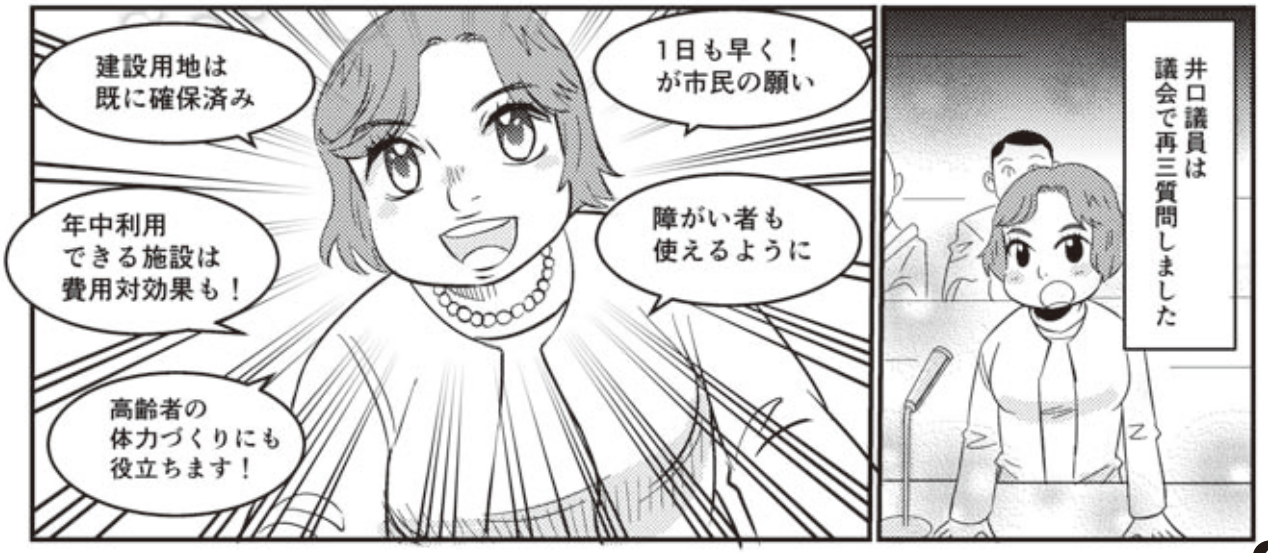
私たちの願いであり、井口さんが6回も質問してきた、多摩川サイクリングコースの布田橋部分が2019年春には完成するそうです。すでに、布田橋先から稲城市までは舗装されてスイスイ走れるようになっています。完成すれば途切れることなく多摩川サイクリングを楽しめます。ゆったり流れる広い水面を眺めながら、サイクリングは爽快です。日々の運動不足解消にも一石二鳥、楽しみです。

菅稲田堤在住
藤井 光子

完全実話コミック プロジェクト まみ

多摩スポーツセンターに温水プールを! の巻

まんが／坂本一水



他会派の議員から

プールは無理！

ほんとにしつこいね～プール無しでも充分じゃんか～

温水プールは市民の願いよあきらめないわ！

2004年12月『作る会』が『温水プール付き多摩区スポーツセンターを早期建設することに関する請願』を千名近い署名を集めて議会に提出

2005年3月議会

趣旨採択されました

オオ～

すべての会派が賛成し大きく前進！！
翌年、スポーツセンターの建設は決定しました！！
すぐに基本構想・計画策定委員会がたちあがり、
『プールあり』の計画を策定。

2007年2月ついに市長がプールの併設を発表

やっぱプール作ります

やった！

わーい！

その後も井口議員は議会で計画の具体化に市民の希望を取り入れるよう折にふれ質問

運営方針は？

送迎バスは？

障がい者高齢者対策は？

こうして2011年3月26日ついに温水プールつきのスポーツセンターが完成！

2017年度はプールだけで約10万人の市民が利用しています

井口まみの行動は明日へとつづく！

次は生田浄水場の復活～！

ピュ～ン

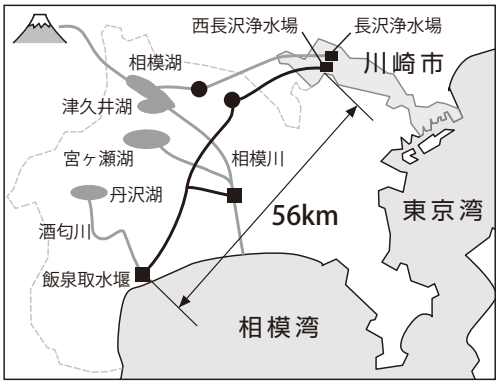
くらし本意の市政

生田浄水場の復活を

災害時でも水道が出る川崎に

市民の飲み水の半分は小田原から

2017年4月、生田浄水場が廃止され、市民が飲む水の半分は56キロ離れた小田原市の飯泉取水堰から運ばれてくる水になりました。川崎市はこの水を神奈川県内広域水道企業団（企業団）から買っているのです。



6日間水が来なかった―1年間も事故を隠す

2017年7月、企業団のポンプが故障し、小田原から6日間にわたって水が来なくなる重大事故がありました。

翌年4月に事故を知った井口まみ市議は、議会で1年近くも市民に報告がなかったことを厳しく追及しました。この6日間は緊急対応でしのぎましたが、長期間の対応はできなかったことが井口市議の追及で明らかになりました。

生田浄水場は復活できる

企業団の施設はあまりに巨大で耐震補強ができないため、震災時には水が止まることはすでに想定されており、もしもの時に市民の水が足りなくなる重大問題です。

生田浄水場を復活させれば、一日10万トン、緊急時の市民の飲み水を供給する量は確保できます。現在、地下水をくみ上げる井戸と旧浄水場の施設は運転を停止していますが、市民の粘り強い運動によって、重要な水道管などは残されており、いつでも復活できます。災害の時でもすべての川崎市民が、給水車を待つことなく水を手に入れることができるのです。

井口まみは
がんばります！

菅からくみ上げたおいしい地下水を、再び皆さんのもとへ届け、災害時にも水に困らない川崎を作ります。

生田浄水場の空地は公園に

生田浄水場の東半分がずっと更地になっています。水道用地のままスポーツ施設などで民間に貸す予定ですが、事業者が決まりません。井口まみ市議は、「一部でも地域に足りない公園にするべき」と求めています。

井口まみのお約束

実現します！

災害対策の強化を

自然災害への対策、日本共産党の具体的な提案

防災ラジオを全戸に

災害の時には正確な情報の伝達が、まず必要です。屋外にある防災行政無線は、聞こえにくい地域があるうえ、豪雨になると全く聞こえません。共産党は、放送が始まると自動で電源が入るラジオ付き個別受信機を全世帯に普及すべきと提案。市は「最新機器の機能や汎用性を研究する」と答弁しました。

人権が守られる避難所に

現在の市の計画ではたくさんの人が避難所に入りきれず、避難所の中でも人間らしい生活を送ることができません。共産党は、市が国際赤十字の基準（「スフィア基準」）を守り「人権が守られる避難所にするべき」と指摘。市内のあらゆる宿泊施設、公的施設を避難所として指定すること、避難者を案内する仕組みを作るよう提案しています。

菅地区

豪雨時の水害対策が大きく前進

菅地区は雨水の排水施設を十分つくらないまま宅地にしたところがあちこちに。井口まみ市議は、応急的な対応とともに、抜本的な対策を議会でくりかえし要望してきました。2018年6月議会で、菅地区での約197ヘクタールを対象に、大きな雨水管を2018年度から埋設することが明らかになりました。これにより、菅地区は、1時間当たり58ミリの雨を処理できるようになり、92ミリの雨が降っても床上浸水しないようになります。

洪水・浸水時の避難先の確保

共産党は、市が公的施設や民間会社、マンションなどと協定を結んで「水害時避難ビル」を指定し、高いところへの避難に協力してもらう制度を作るよう求めています。

生田地区

市民館・図書館分館はどうしても必要、計画の復活を

建設するばかりだった生田地区の市民館・図書館分館の計画が、行政改革の名のもとに白紙になって13年。「図書館がほしい」「サークル活動のできる場所がほしい」という声はますます強くなっています。

井口まみ市議は、生田出張所の仮庁舎の跡地など具体的な提案をして、整備を繰り返し求めています。

市民の悩みと願いに寄りそって――

くらしの相談センター多摩の所長として奮闘しています

くらしの相談センター多摩を開設して8年。10数名の相談員とともに、1100件をこえる相談に乗ってきました。

◆「職場のパワハラで仕事が続けられず、人に会うこともできません。もうお金が底をつきます」――共産党のアンケートに寄せられた声から連絡をつけ、生活保護につなげることができました。

◆夫の暴力から逃げてこられた母子を行政につなぎ、安全なところに避難してもらえました。

◆地方の方から「多摩区の一人暮らしのいとこを助けて」という連絡を受け、衰弱している方を救い出しました。

暮らしを守る制度はいろいろあります。知らないために苦しい思いをしている人と行政機関をつないで、多くの問題を解決してきました。

しかし、安倍政治のもとで年金も生活保護費もどんどん減らされ、普通の暮らしができません。介護保険料や国民健康保険料などの引き上げは生活を直撃しています。こうした政治のおおもとを正さなければ、暮らしはよくならないと、議会でも取り上げています。

困ったときの相談所

くらしの相談センター多摩

TEL. 044-949-6674

相談はすべて無料です。お気軽にご相談を。

国会や市議会と結んで小田急線（向ケ丘遊園駅―新百合ヶ丘駅）の複々線を地下2層化で

「小田急線複々線化・地下2層化をすすめる会」が結成されて20年余。「東京都内が完成したら検討する」と言われてきましたが、今こそ小田急電鉄と川崎市が協議するべき時です。

「すすめる会」は毎年、小田急本社と交渉を行っており、日本共産党のはたの君枝衆議院議員と井口まみ市議は必ず同行してきました。

ホームドア設置や"開かずの踏切"解消など「すすめる会」の活動と国会や市議会と結んで、市民の願い実現をめざします。

小田急電鉄本社での意見交換。右から3人目 はたの君枝衆議院議員、4人目あさか由香党県雇用・子育て相談室長、その左一人おいて井口まみ市会議員。

力を合わせて政治をかえよう

日本共産党 川崎市議会 議員団

市民の願いを議会でとりあげ、力を合わせて実現してきました

- 中学校完全給食がついに実現（2017年度中に全校実施）
  ――20年来の市民運動とともに
- 認可保育園の増設
  ――今後4年間で8665人分の定員増を計画に盛り込ませる
- 小児医療費・入院助成の所得制限が廃止へ（2019年1月から）
  ――通院でも廃止求める
- こども文化センター集会室にエアコン設置
  ――菅をはじめいっきに13ヵ所の設計費（2018年度）
- 就学援助の入学準備金を前倒し支給
  ――中学校は今年3月実施、小学校は2019年3月実施へ
- 学校トイレの洋式化
  ――スピード倍化、2022年までにすべての公立学校のトイレ洋式化へ

不要不急の大規模事業をきびしく追及し、キッパリ中止を求めています

- 市民生活に必要ない2つの橋建設
  （羽田連絡道路300億円、臨港道路東扇島水江町線540億円）
- 東扇島堀込部の埋立土地造成事業（240億円）
- 船がほとんど来ない港――コンテナターミナル開発
- 1メートル1億円の高速川崎縦貫道路整備
- 採算性なく、まちこわしの鉄道整備＝川崎アプローチ線（300億円）

消費税10%やめろ、憲法9条まもれ、悪政許しません

川崎市議会で、福祉切り捨て・市民負担増、ムダな大規模開発を推進する予算に何でも賛成の自民・公明。国政でも消費税10%増税、憲法9条改憲、福祉切り捨てを進める安倍内閣。国政でも市政でも自民・公明と対決して国民の願いを託せるのは、日本共産党です。

財源はあります

- 市税収入は 5年連続過去最大
- 市の減債基金残高は2305億円（2018年度末）
- 財政力指数は 20政令市中1位

共産党は、不要不急の大規模事業をやめ、福祉・くらしに予算を回す「予算組み替え案」を毎年提案しています。

市議会主要会派の態度

	共産	自民	公明	民進*
国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書（15年12月議会）	×	○	○	○
元海兵隊員による女性遺体遺棄事件に強く抗議し、全ての米軍基地の速やかな撤去を求める意見書（16年6月議会）	○	×	×	×
南スーダンに派遣されている自衛隊の即時撤退を求める意見書（16年9月議会）	○	×	×	×
小児医療費助成制度に一部負担金を導入しないことを求める請願（16年9月議会）	○	×	×	×
生活保護基準の引き下げに反対する意見書（18年3月議会）	○	×	×	×
消費税の増税中止を求める意見書（18年3月議会）	○	×	×	×

＊「民進」は旧民主を含む　　○…賛成　×…反対

切にする政治を

熱血対談 井口まみ×梅垣美香

井口議員は、子育てをしながら議員活動をしてきました。保育園・学童保育時代のママ友の梅垣美香さんと、久しぶりに暮らしや政治について、熱く語り合いました。

「学童保育なくすな」と署名運動

梅垣美香：お久しぶりです。いま、子どもたちはみんな成人してほっとしています。こうしておしゃべりしていると保育園時代を思い出しますね。

井口まみ：ほんとだね。私も梅垣さんも、仕事と子育ての両立には苦労しましたよね。私は、まず認可保育園に入れず、1年間、登戸の無認可保育所へ片道30分かけて通園しました。1歳の時に、菅にある認可保育園に入って、梅垣さんたちに出会ったんだよね。「一人ぼっちのお母さんをなくそう」って、父母会活動にがんばりました。

何と言っても思い出すのは、学童保育の補助金が廃止されたとき→の撤回運動ですね。

梅垣：そうそう、「廃止はやめろ」の署名を2万筆集めました。結局、学童保育が廃止されて悔しい思いをしました。

住民の願いに心よせる共産党

梅垣：ところで、井口さんはどうして共産党に？

井口：私が大学入学して早々、学費値上げが提案されて、値上げがされたら学業に励むことができないと反対の署名活動に取り組みました。学費値上げに反対した政党は共産党だけで、信頼できる党だと思い、入党しました。28歳の時に共産党の国会議員団秘書になり8年間、共産党の議員が国民の命と暮らしに心を寄せてがんばっている姿を見てきました。

梅垣：だから、井口さんは住民の願いにこだわるのですね。多摩区に暮らすようになったのは？

井口：私は、長野県岡谷市という、目の前は諏訪湖、富士山と八ヶ岳というところで育ちました。結婚して東京に来たのですが、豊かな緑、そして山々が見えて癒される場所に住みたいと思ったら、多摩区でした。ですから緑を守りたいという相談があると力が入りますね。

障がい者福祉に予算を

梅垣：私は障がい者福祉の運動団体で働いていますが、障がい者への支援が切実に求められています。

井口：私はいま、共産党川崎市会議員団の障がい者問題チームの一員として、障がい者団体と懇談したり、現場を視察しています。その←

なかで障がい者と家族の皆さんの願いを一つひとつ届けています。

例えば障がい者作業所は午後4時前に作業を終わります。「家族が帰ってくるまで、作業所で一時預かりしてほしい」という請願が議会に提出され、採択されて、2018年4月から市の独自の制度ができました。また、川崎市は、養護学校高等部を卒業したあと、どんなに障がいが重くても進路があるように、福祉的就労を保障しています。こうした施策のために、予算を増やすよう求め続けていますが、どれもほんとうに切実な願いです。

梅垣：障がいが重くても仕事ができることは大事です。私の妹は知的障がいがありますが元気に作業所に通っています。最近グループホームで暮らすようになり、携帯メールも使えるようになりました。

一人ひとりが その人らしく生きる社会に

井口：障がいがあっても支援を受けて自分らしく生きられるっていいですね。私が障がい者の皆さんに向き合って実感しているのは、政治がすべきことは「一人ひとりがその人らしく生きられる」という根本的な問題、憲法13条を生かす社会にすることです。そのためには、国も川崎市も支援の制度をつくり、福祉の予算をきちんとつけることが政治の責任だと思います。ところが安倍内閣も福田市政も逆に福祉の予算を削っている。

一人ひとりのいのちを大

梅垣：親自身が、障がい者の支援はずっと「親の責任」と言われ続けて、いつまでたっても家族の負担が大きいままです。政治が変われば親御さん自身が「私の人生は私のもの。この子の人生もこの子のもの」って思えるようになりますね。そういう社会にできるといいですね。

井口：市民一人ひとりの命を大切にすることが政治の仕事なんですよね。障がい者はもちろん、子どもたちも若者も高齢者も大切にされる川崎にするために、私も議会でがんばります。

梅垣：ぜひがんばってください。

井口まみ プロフィール

1961年、長野県岡谷市生まれ。長野県立諏訪二葉高校卒。愛知県立大学外国語学部に学ぶ。日本共産党国会議員秘書8年。2003年川崎市議会議員初当選。以来4期連続当選。現在市議会環境委員会副委員長。多摩区菅稲田堤在住。民生委員3期目。家族は夫、一女。

活動地域

生田4～8丁目、西生田、南生田、長沢3～4丁目、菅、菅野戸呂、菅稲田堤、菅馬場、菅北浦、菅城下、菅仙谷、栗谷、寺尾台

こんにちは　井口まみです

市議会に送っていただいて4期16年。本当にたくさんの問題を取り上げてきました。すぐ解決することもあれば、なかなか難しい課題もあります。しかし、私はどんな問題も市民の皆さんが願っている限り、あきらめないで実現するまで取り組んでいきたいと思います。ひきつづき、全力でがんばります。

むだづかいをやめ、全国の政令市トップの財政力を子育て、教育、福祉など、市民の暮らしを支える予算にまわします。

子育てしやすい川崎に

- 小児医療費を中学卒業までどの子も無料に。
- 認可保育園の増設で待機児童ゼロをめざします。
- 幼稚園の保育料補助を増額します。入園料は10万円補助を。
- 35人以下学級を小学校3年生以上にも実施します。

高齢者・障がい者を大切にする市政を

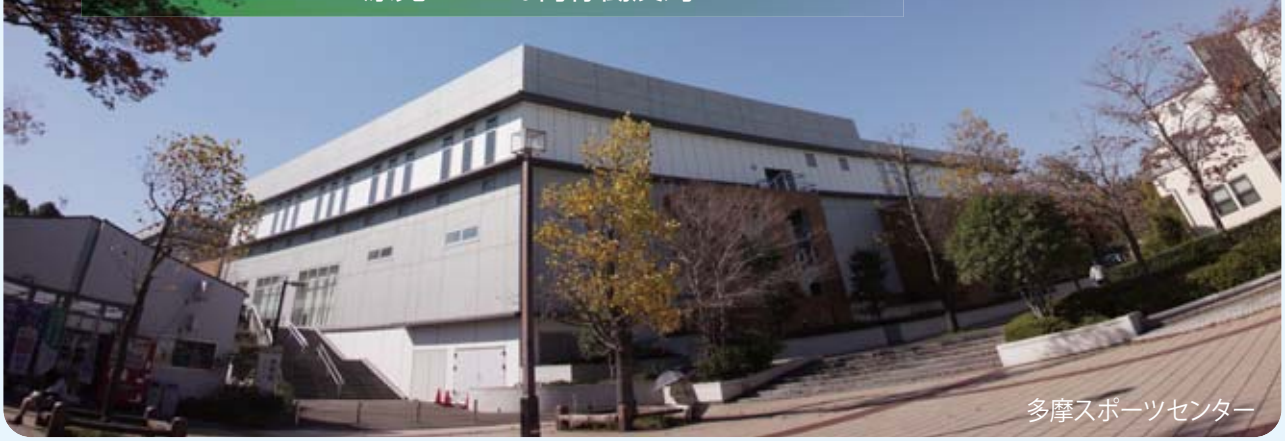
- 特別養護老人ホームは申し込んで1年以内に入居できるよう増設を。
- 高い介護保険料、国保料の負担を軽減します。
- 障がい者が高齢になっても安心して住み続けられる住まいの確保を。
- 障がい者の日中活動を充実します。

豊かに暮らせるまちづくりを

- 開発優先でなく緑と自然を守ります
- 災害に強いまちづくり。防災対策を強化します。
- 交通不便地域にコミュニティバスを。
- 道路・公園予算を抜本的に増やし、きれいで安心できるまちを。
- 若者が暮らせるまちづくり。正規労働を増やし、家賃補助を。

安倍政権の暴走ストップ

- 平和の憲法9条を守り抜きます。
- 消費税の増税は反対です。
- 原発ゼロへ。再稼働反対!



多摩スポーツセンター